

彼方小だより

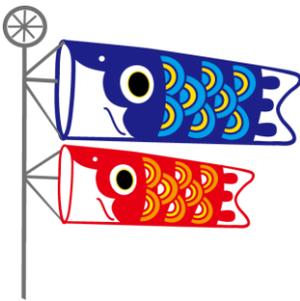
児童数配布

富田林市立彼方小学校

令和4年5月号

「お兄さん・お姉さん」

校長 藤井 貞彦



早いもので、ついこの前1学期が始まったと思えば、あっという間にGWを迎えました。今年は4月に授業参観、家庭訪問と無事に実施することができました。授業参観で学校での子どもたちの様子を見ていただき、家庭訪問ではご家庭での様子やお気づきのこと等を聞かせていただきました。お聞きしたことをしっかり受け止め、今後の活動に生かしていきたいと考えております。ご協力ありがとうございました。

「失礼しまーす。」低学年の子どもたちが、校長室にやって来ました。この時期恒例の「学校たんけん」です。1・2年生の子どもたちがグループを組んで校内の色々な場所を回っていきます。校長室では「昔の写真がいっぱいある〜」「いすがフカフカや〜」と興味津々な1年生に対して2年生は「ここは校長先生がお仕事をする部屋です。」「学校にお客さんが来たときは、校長室でお話をします。」と事前に調べたことをきちんと説明していました。「失礼しました。」時間になると、その後の予定もきちんと考えて次の場所に出発して行きました。昨年はまだ入学したばかりで、当時の2年生に案内されて校内を回っていた子どもたちが、立派に1年生をリードしている姿を見て、この1年の成長を実感しました。

また、先週は家庭訪問のため、全学年一斉下校でした。下校の見回りをしていたのですが、低学年と高学年では歩くスピードが違い、低学年が後ろの方をゆっくり歩いています。少し疲れたのでしょうかとぼとぼ歩いているように見えました。そこに用事か何かで出発が遅くなった6年生の子が通りかかり、何か言葉をかけました。すると、1年生の子が6年生の子の方に近づいて行って手をつないでもらいました。近くにいた子たちも、そのまま一緒に歩いて帰って行きました。ランドセルが小さく見える大きな6年生の周りに、ランドセルに背負われているような低学年の子どもたち、足取りも軽くなったようです。そんな姿を見て心が温かくなるとともに、自然にこのような行動ができる6年生の姿に頼もしさを感じました。「気をつけて帰るんやで〜」うれしい気持ちで子どもたちを見送りました。

先月も書きましたが、子どもたちは集団の中で成長していきます。同じ学年の横の関係だけでなく、異年齢の縦の関係の中でも多くのことを学びます。今後も「縦」・「横」そして家庭や地域の方々も含めた「斜め」の関係等、様々な集団での取り組みを続け、彼方小学校の伝統を守っていきたく思います。

今月は気候も良く、校外学習等の行事に取り組み、学級・学年（複数学年）での集団づくりを積極的に進めて行く予定です。まだまだ感染症対策を取りながらですが、できることに学校全体で前向きに取り組んでいきます。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

